校長だより　**向日葵**　　１月１２日　廣渡一郎

◆◇◆避難訓練◆◇◆

■「教頭先生，私たちは子どもの動きを見に来たわけではないんですよ。
私たちが見ているのは先生方の動きです。その点から言いますと…」
以前，教頭として勤めた学校での避難訓練での消防署の方の言葉です。
その口調と指摘いただいた内容はとても厳しいものでした。
私はその時はじめて，避難訓練の目的は，

> 子どもの避難の仕方がどうだった，だけでなく
> 子どもを安全に避難させるために，「教職員」が組織的にきちんと動けていたか

を点検，確認するものだと教えていただきました。

■昨日は今年度三回目の避難訓練。
今回は「不審者対応」のための訓練でした。
私が不審者の役となって，右のイラストのようなかっこうで
校舎内に侵入。どこからどこに入るかは職員には伝えていません。
発見した職員がどう対応するか，不審者としての私の動きに応じて
どう組織的に動けるかを点検してみました。
いくつかの課題がはっきりしたので，改善に向けて主務者を中心に確認，共有する
場を設けます。

■ただ。
実際には私が扮したイラストのような「怪しい」人を目にすることはめったにありません。
一見，「怪しいと感じない」人が不審者である場合が問題なのです。
なので，組織的な対応の仕方を訓練することも大切ですが，まずは私たち教職員の
危機管理意識，アンテナをしっかり磨いておくことが必要になります。
そのための働きかけもあわせてあってはならない「もしも」に備えます。